

平成28年10月教育委員会定例会議事日程

新潟市教育委員会

日 時	平成28年10月26日(水) 午後3時30分 開会
場 所	新潟市役所白山浦庁舎6号棟2階 教育会議室1
日 程	<p>第1 会議録署名委員の指名</p> <p>第2 付議事件</p> <p>議案第18号 平成28年11月議会臨時会の議案について……………1</p> <p>議案第19号 分離新設校の通学区域について……………2</p> <p>議案第20号 通学区域の一部変更について……………6</p> <p>第3 報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・決算の認定について……………1</li> <li>・平成28年度全国学力・学習状況調査 新潟市の結果について…13</li> </ul> <p>第4 次回日程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>11月定例会 平成28年11月29日(火) 午後3時30分</li> <li>12月定例会 平成28年12月20日(火) 午後3時30分</li> <li>1月定例会 平成29年 1月17日(火) 午後4時00分</li> </ul> <p>第5 閉会</p>

平成28年10月

教育委員会定例会議案等

新潟市教育委員会

# 付議事件

議案第18号

平成28年11月議会臨時会の議案について

平成28年11月議会臨時会の議案について市長より意見を求められたため、その意見について議決を求める。

平成28年10月26日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

平成28年度新潟市一般会計補正予算について

【施設課】

大規模改造事業

(1) 事業概要

国から国庫補助金の追加内示があったため、小・中学校の大規模改造工事及びグラウンド改修を実施し、安全な学校施設の整備を図るもの。追加内示のあった事業全額について繰越明許費設定を行い、2箇年で事業を執行する。

(2) 予算補正額（予定）

歳出の部

大規模改造事業費	2,786,000千円
小学校費	2,171,100千円
中学校費	614,900千円

歳入の部

国庫支出金及び市債	3,183,300千円
学校施設環境改善交付金	533,800千円
小学校費国庫補助金	409,900千円
中学校費国庫補助金	123,900千円
大規模改造事業債	2,649,500千円
小学校債	2,033,700千円
中学校債	615,800千円

繰越明許費設定 5,007,000千円

## 学校施設整備に係る補助事業内示状況(文部科学省関係)

教育委員会 施設課

## 平成28年度当初予算分

内示状況	事業名	事業費(千円)	対象校
国の補正予算	大規模改造	2,057,000	7校 曾野木小, 横越小, 大通小, 内野小, 巻南小, 藤見中, 木戸中
	グラウンド改修	164,000	3校 中野山小, 新津第三小, 白新中
計		2,221,000	10校

## 平成29年度前倒し分(予定)

内示状況	事業名	事業費(千円)	対象校
国の補正予算	大規模改造	2,527,000	9校 竹尾小, 牡丹山小, 江南小, 桜が丘小, 山潟小, 亀田小, 味方小, 東石山中, 亀田中
(H29予算前倒し)	空調設備更新	92,400	2校 臼井小, 味方中
	トイレ改修	166,600	4校 葛塚小, 早通小, 阿賀小, 山潟中
計		2,786,000	15校

## 国の追加内示事業費 合計

	事業費(千円)	校数
国の補正予算に係る事業費	5,007,000	25校

## ※参考

内示状況	事業名	事業費(千円)	対象校
当初内示	新增改築	1,812,100	4校 木戸小, 南万代小, 日和山小, 内野中(武道場)
単独執行	大規模改造	1,061,000	3校 山潟小, 亀田小, 巻西中

議案第19号

**分離新設校の通学区域について**

新潟市立新通小学校（以下「新通小学校」という）の適正規模化を進めるために新通小学校から分離新設を予定している、（仮称）新潟市立第二新通小学校（以下「（仮称）第二新通小学校」という）の通学区域及び、それに伴い変更となる新通小学校の通学区域を、次のとおりとしたいため議決を求める。

平成28年10月26日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

**分離新設校の通学区域について**

**1 （仮称）第二新通小学校の通学区域**

別紙資料1に表示された区域を（仮称）第二新通小学校の通学区域とする。

**2 新通小学校の通学区域**

現在の新通小学校の通学区域から、（仮称）第二新通小学校の通学区域を除いた区域（別紙資料2に表示された区域）を新通小学校の通学区域とする。

**3 （仮称）第二新通小学校の通学区域となる対象者**

施行期日以降、該当通学区域に居住する児童

**4 施行期日**

（仮称）第二新通小学校の開校時

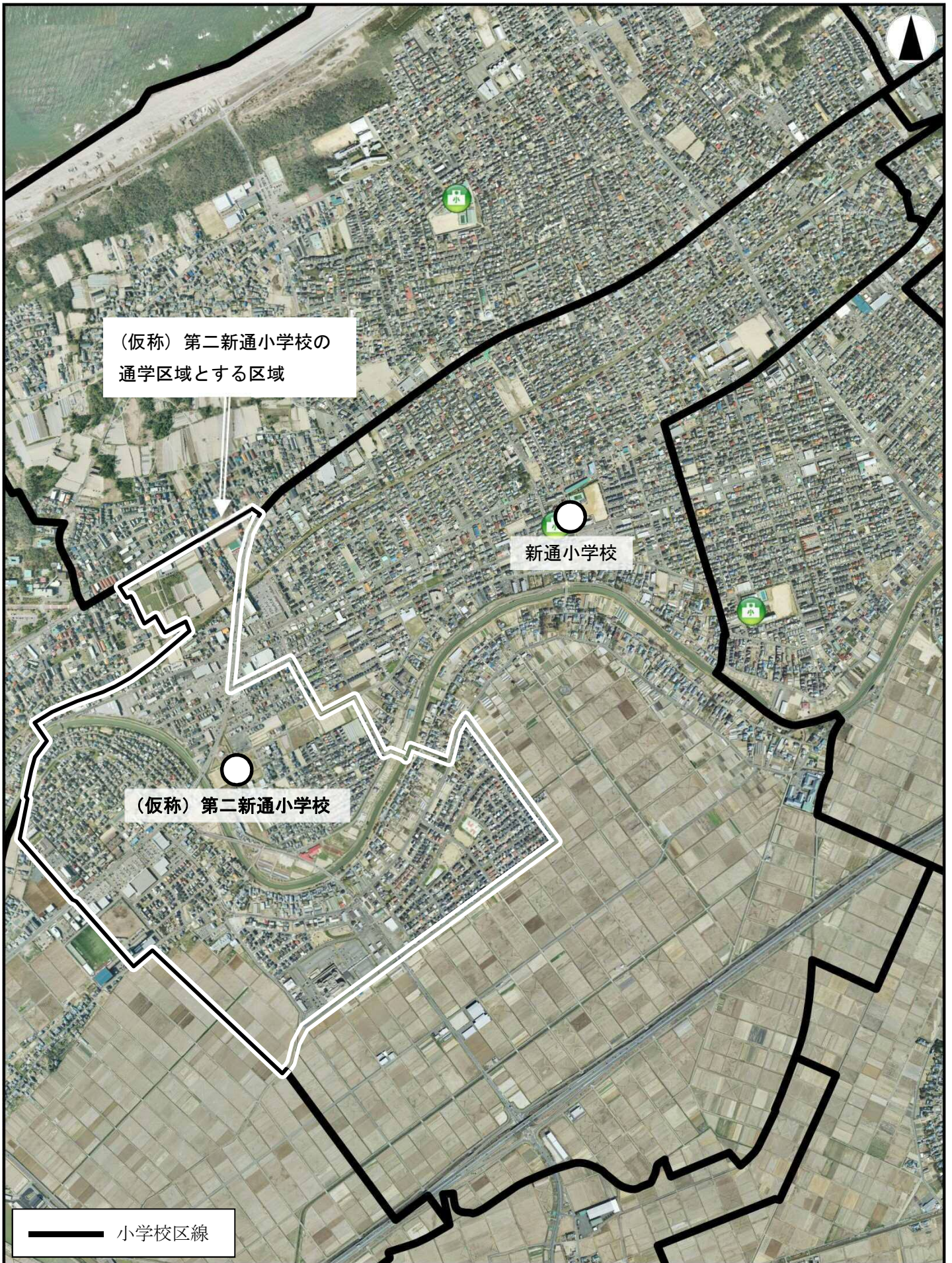
別紙資料 1 (仮称) 第二新通小学校の通学区域

区名	町名	地番等
西区	大野	全部
	坂井	428 番地 10, 435 番地 14, 439 番地, 440 番地 5, 440 番地 10, 441 番地, 446 番地, 454 番地, 455 番地, 462 番地, 468 番地, 589 番地～700 番地, 706 番地～710 番地, 712 番地 1, 716 番地 1, 716 番地 3, 725 番地～738 番地, 739 番地 1, 756 番地 2, 757 番地～779 番地, 1438 番地
	新通	872 番地 2, 1012 番地～1095 番地, 1238 番地～1276 番地, 1326 番地～1352 番地, 1680 番地～1728 番地, 1924 番地～2008 番地, 2191 番地 1, 2192 番地 1, 2195 番地 1, 2295 番地 1, 2297 番地 1, 2301 番地, 2717 番地～2838 番地, 3092 番地～3119 番地
	新通西 1・2 丁目	全部
	新通南 1～3 丁目	全部
	大学南 1 丁目	1 番地 1～41 番地 4, 384 番地 1～385 番地, 423 番地 8, 428 番地 14, 429 番地 6, 434 番地 2, 434 番地 4, 435 番地 2, 435 番地 16, 447 番地 4, 455 番地 1～460 番地 2, 6674 番地 2～6693 番地 1, 6703 番地 3～6714 番地 3, 7811 番地 3～7811 番地 4
	槇尾	420 番地～475 番地, 1029 番地～1376 番地, 1383 番地, 1393 番地, 1394 番地

別紙資料2 新通小学校の通学区域

区名	町名	地番等
西区	坂井	339 番地 3, 470 番地～587 番地, 719 番地 1, 746 番地 1, 747 番地 3, 752 番地 1, 752 番地 2, 753 番地, 783 番地～1035 番地
	坂井 3 丁目	全部
	坂井砂山 1～4 丁目	全部
	坂井東 6 丁目	全部
	新通	3123 番地～3535 番地, 3878 番地, 3885 番地, 4727 番地, 4734 番地, 4759 番地, 5324 番地 2, 5342 番地, 5343 番地
	須賀	10 番～11 番 7 号
	寺尾	20 番 23 号～30 号, 22 番～31 番
	寺尾上 1～6 丁目	全部
	寺尾台 1 丁目	6 番 13 号～35 号, 7 番





1/15000



議案第20号

通学区域の一部変更について

新潟市立上山小学校及び鳥屋野小学校の通学区域を、次のとおりとしたいため議決を求める。

平成28年10月26日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

通学区域の一部変更について

1 新潟市立上山小学校の通学区域

現在の上山小学校の通学区域から、表の住所を除いた区域を上山小学校の通学区域とする。

2 新潟市立鳥屋野小学校の通学区域

現在の鳥屋野小学校の通学区域に、表の住所を加えた区域を鳥屋野小学校の通学区域とする。

3 通学区域変更の対象者

施行期日以降、該当通学区域に居住する児童

4 通学区域変更の施行期日

平成29年4月1日

5 通学区域を変更する住所（表）

区名	町名	番地等
中央区	愛宕3丁目	全部

## 別紙資料 愛宕自治会の通学区域の一部変更について（概要）

### 通学区域の変更理由

愛宕自治会は、鳥屋野小学校区を主なエリアとする「鳥屋野校区コミュニティ協議会」内の自治会であるが、別紙図面 1, 2 のとおり、従来から愛宕 1, 2 丁目が鳥屋野小学校区、愛宕 3 丁目が上山小学校区と自治会が分断されている状況のため、地域活動の範囲と通学区域との不一致により、円滑な自治活動に不都合が生じている。

また当該地域に居住する住民は、地域コミュニティの一体化の観点から、鳥屋野小学校区への通学区域の変更を強く希望している。

これらのことから、通学区域の一部を変更し、愛宕 3 丁目の通学区域を鳥屋野小学校区としたい。

### 学級数・児童数の状況

学校名	平成 28 年度	変更前後	平成 29 年度 推計	平成 34 年度 推計
上山小学校	23 学級 (687 人)	変更前	25 学級 (724 人)	30 学級 (897 人)
		変更後	25 学級 (720 人)	29 学級 (874 人)
鳥屋野小学校	29 学級 (876 人)	変更前	30 学級 (917 人)	40 学級 (1,222 人)
		変更後	30 学級 (921 人)	40 学級 (1,245 人)

※ 平成 28 年度の数値は、特別支援学級の学級数・児童数を含めていない。

※ 推計各年度の数値は、特別支援学級の学級数を含めていない。



1/10000

# 報 告

平成 27 年 度

# 主要施策成果説明書

(教育委員会)

# 教育委員会

## 1 歳 入

(一般会計)

(単位 円)

区 分	予算現額 (A)	調定額	収入済額 (B)	予算現額に 比し増△減	執行率 (B)/(A)
教 育 総 務 課		134,875	134,875	134,875	皆増
学 務 課	332,306,000	330,453,235	319,379,705	△ 12,926,295	96.1%
施 設 課	8,759,596,987	6,793,179,990	6,252,296,850	△ 2,507,300,137	71.4%
保 健 給 食 課	54,324,000	33,158,845	33,049,155	△ 21,274,845	60.8%
地 域 教 育 推 進 課	94,362,000	73,665,244	73,665,244	△ 20,696,756	78.1%
教 職 員 課	1,320,000	1,211,010	1,211,010	△ 108,990	91.7%
総合教育センター					
学 校 支 援 課	68,971,000	61,218,563	61,218,563	△ 7,752,437	88.8%
生涯学習センター	26,621,000	27,215,576	27,215,576	594,576	102.2%
中 央 公 民 館	75,552,000	42,448,167	42,448,167	△ 33,103,833	56.2%
中 央 図 書 館 課 中 企 画 管 理 課	18,460,000	17,945,492	17,945,492	△ 514,508	97.2%
合 計	9,431,512,987	7,380,630,997	6,828,564,637	△ 2,602,948,350	72.4%

## 2 歳 出

(一般会計)

(単位 円)

区 分	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度繰越額	不用額	執行率 (B)/(A)
教 育 総 務 課	5,405,526,000	5,283,089,399		122,436,601	97.7%
学 務 課	5,088,681,000	5,012,980,564		75,700,436	98.5%
施 設 課	11,059,301,987	8,822,705,065	2,115,336,484	121,260,438	79.8%
保 健 給 食 課	2,444,829,000	2,369,013,433	27,400,000	48,415,567	96.9%
地 域 教 育 推 進 課	309,405,000	281,883,083	18,400,000	9,121,917	91.1%
教 職 員 課	1,879,235,000	1,859,367,598		19,867,402	98.9%
総合教育センター	24,414,000	22,769,267		1,644,733	93.3%
学 校 支 援 課	1,077,981,000	1,061,909,907		16,071,093	98.5%
生涯学習センター	1,737,415,000	1,726,983,489		10,431,511	99.4%
中 央 公 民 館	387,479,000	331,396,061	42,000,000	14,082,939	85.5%
中 央 図 書 館 課 中 企 画 管 理 課	762,474,000	756,127,604		6,346,396	99.2%
合 計	30,176,740,987	27,528,225,470	2,203,136,484	445,379,033	91.2%



### 3 主要施策

#### (1) 教育政策関係

「新潟市教育ビジョン」の実現に向けて、第3期実施計画に盛り込まれた具体的な事業を着実に実施するとともに、「新潟市教育ビジョン推進委員会」を開催して進捗状況の把握や適切な評価を行うなど、教育ビジョンの進行管理に努めた。その結果、全体の90.2%の施策において、目標以上の成果を上げることができた。

学校適正配置については、「新潟市立小中学校の適正配置基本方針」に基づき、望ましい教育環境の確保に向けて緊急性の高い地域から協議を行っており、そのなかで小規模化が進む北区及び秋葉区の2小学校について、それぞれ近接する小学校へ編入する統合を決定した。

○教育ビジョンの適正な推進

609,528円

#### (2) 学校管理関係

学校ICT整備事業では、コンピュータ教室で1人1台体制での学習ができる教育用コンピュータ、普通教室・特別教室でインターネットによる調べ学習ができる校内LAN用コンピュータ、及び校務を安全かつ効率的に行うための教職員用コンピュータについての管理運営を引き続き行い、情報通信ネットワークを利用したICT環境の充実を図った。

○学校ICT整備事業費

733,094,617円

就学援助事業では16,676人、特別支援教育就学奨励費では2,941人に援助を行うとともに、東日本大震災による避難者への就学援助事業では219人に援助を行い、保護者の経済的負担の軽減を図った。

奨学金制度では、新潟市奨学金と社会人奨学金を合わせて304人に貸付けを行った。また、高校入学時の入学準備金貸付事業を実施し、34人に貸付けを行った。

○就学援助事業費

1,264,979,310円

○特別支援教育就学奨励費

57,215,119円

○避難者就学援助事業費

17,431,630円

○奨学金貸付事業費	121,601,831 円
○入学準備金貸付事業費	7,114,638 円

災害時の避難所に指定されている学校施設の耐震補強工事については、学校改築事業や大規模改造事業に併せて行ったものを含め、小学校7校、中学校3校、幼稚園1園で実施した。この結果、耐震化率は平成27年度末で100%となった。また、落下した場合に大きな事故となる屋内体育館の天井やバスケットゴールなどについて耐震対策を進めた。

学校改築事業では、木戸小学校及び南万代小学校の建設を前年度に引き続き実施し、日和山小学校の建設に着手した。また、中之口中学校の事業を完了した。

このほか、南中野山小学校ほか13校(園)で大規模改造工事を実施し、学校施設のエコスクール化を推進するため、下山小学校ほか5校で太陽光発電・蓄電池設備の整備を行った。

また、老朽化した校舎等の改修工事など、教育環境の整備を積極的に進めた。

#### 学校施設耐震化率

	25年度	26年度	27年度
耐震化率	95.7%	98.0%	100.0%

○指定避難所耐震補強事業費	1,487,641,477 円
○木戸小学校校舎一部改築事業費	703,701,995 円
○南万代小学校校舎改築事業費	1,430,926,375 円
○日和山小学校校舎整備事業費	181,821,264 円
○中之口中学校改築事業費	212,001,435 円
○大規模改造事業費	3,250,698,508 円
○学校施設エコスクール化推進事業費	93,945,960 円
○老朽校舎等改修事業費	599,398,941 円

### (3) 学校保健・学校給食関係

学校保健では、定期健康診断及び精密検査を引き続き実施し、疾病の早期発見や児童生徒の健康管理に努めた。

児童生徒の生活習慣病予防対策として、小学校4年生及び中学校1年生にリーフレットを配付し予防啓発に努めたほか、希望者1,665人に健診を実施した。健診の結果、要医療者は生活習慣病が14.4%、貧血が8.1%であり、それぞれ専門医療機関の受診を勧奨するとともに、学校での保健指導や栄養士による健康相談など、健診結果に基づく指導の充実を図った。

学校給食では、地場産の米を使用した完全米飯給食を引き続き実施したほか、地域の実情に応じた地場産農林水産物の使用拡大を図った。食材の使用率は、市内産16.7%、県内産31.9%となり文部科学省の目標値（県内産30%）を上回った。

食育の推進については、栄養士による食の指導を行ったほか、学校給食研究推進校4校を指定し、研修会等を通じて研究の成果を市内全校で共有した。

また、食物アレルギー対応マニュアルの改訂を行うとともに、教職員を対象とした研修会を開催し、発生時のより迅速な対応を図った。

効率的な学校給食の運営を行うため、上所小学校・女池小学校に続き、新たに下山小学校・東中野山小学校・笹口小学校を加えた5校において、調理業務の民間委託を実施した。

○学校医の配置・各種健康診断事業費	177,718,865円
○児童生徒の生活習慣病予防対策事業費	6,913,213円
○「食に関する指導」推進事業費	506,454円
○学校給食管理費（調理委託）	88,428,780円

### (4) 学校教育関係

確かな学力の向上のため、市内全域の小学校6年生及び中学校3年生を対象に学力調査を実施し、学力実態の分析を行い対策を講じてきた。その結果、平成27年度は、小学校では、すべての教科で全国及び新潟県全体の平均正答率を上回り、中学校でも、ほとんどの教科で全国及び新潟県全体の平均正答率を上回った。特に小学校では理科で全国の平均正答率を大きく上回った。また、学校が習熟度を把握できるように、引き続き算数・数学・理科の単元評価問題のWeb配信を行い、学力の向上・定着を支援した。

広い視野をもって異文化を理解し、異なる文化や習慣をもった人と共に生きていく資質や能力を育成するため、外国語指導助手を配置し英語教育の充実に努めた。また、豊かな心をはぐくむために、郷土の伝統や文化に対する理解を深める取り組みを行うとともに、芸術鑑賞や自然体験などの体験学習の充実に努めた。

いじめや不登校への対策として、小・中・高校にスクールカウンセラーを配置・派遣し、早期発見及び早期対応によるいじめの解消や不登校の減少に努めた。また、スーパーサポートチームやスクールソーシャルワーカーを随時派遣し、子どもの相談に対応するとともに、学校・保護者・関係機関等と積極的に連携し、問題の解決に努めた。

特別支援教育に関しては、子ども一人ひとりがその能力や可能性を最大限に発揮し、自立と社会参加することができるように、適切な指導及び支援を行った。特別支援教育サポートセンターを中心に、相談支援を行う体制の充実に努めるとともに、小・中学校へ介助員を配置し、障がいのある児童生徒の学校生活を支援した。

○学力実態調査・学習支援員の活用	17,321,805 円
○外国語指導助手の配置	70,550,030 円
○ふるさとにいがた体験活動の推進	8,742,340 円
○優れた音楽・芸術に触れる機会の提供	38,600,265 円
○自然体験学習の充実事業費	14,358,603 円
○カウンセラー等活用事業費	52,735,936 円
○特別支援教育サポートネットワーク事業費	10,577,929 円
○介助員の配置	456,804,450 円

#### (5) 教職員関係

第4次地方分権一括法により、平成29年4月に県費負担教職員の給与・定数・学級編制基準の決定権限が県から市へ移譲されるため、県費負担教職員に係る勤務条件の検討や教職員人事給与システムの構築などの準備を進めた。

優秀で多様な能力をもった教員を確保・育成していくために、市立小・中・特別支援学校の教員の採用・管理職の登用に関する選考検査を実施し、教員を71名採用し、管理職を62名登用した。なお、採用・登用にあたっては、民間委員による面接を実施することで、検査の透明性・公平性を高めた。

教職員の資質・指導力の向上と学校組織の活性化を図るため、市独自の教職員評価

制度による管理職評価・教職員評価を行うとともに、校園長・教頭を対象にした評価者研修の内容を改善し、評価能力の一層の向上に努めた。

教職員の多忙化解消策として、教職員の負担を軽減し、児童生徒とじっくり向き合えるよう、学校・園への照会文書等の削減に引き続き取り組むとともに、「多忙化解消行動計画」を基に全学校・園での取り組みを推進させた。その結果、「放課後に子どもと接する時間が1週間当たり5時間以上の教職員の割合」は65.8%となり、平成22年度と比べ39.7ポイント、前年度と比べ1.6ポイント増加した。

総合教育センターでは、市民に信頼される教職員の育成を目指し、学校現場のニーズに合致した研修及び教職員のキャリアステージや教育課題に応じた研修を、合計120講座実施した。

研修講座の改善・充実を行った結果、研修全体の受講者満足度A評価（とても充実していた）は87.6%で目標の80%を達成し、受講者も前年度より増加した。

特に、教職経験2～3年目の「若手教師道場白帯」ではA評価が90.9%、教職経験4～5年目の「黒帯」ではA評価が94.5%に達し、若手教員の授業スキルの向上及び若手教員同士のネットワークの構築が図られた。

また、研修受講後、研修で学んだことが実際に活用され、研修効果を実感できたかどうかの測定を目的とする「3か月後アンケート」を実施した。その結果、「3か月後に研修したことを活用できた」との回答が平均77%となった。さらに、アンケートで得られた意見を講座計画に反映させることによって、講座内容のさらなる改善を図った。

#### 研修実績の推移

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
受講者数(人)	6,811	6,813	7,248	7,338	8,018
満足度A評価(%)	88.3	86.6	85.8	88.4	87.6

他の教師の模範となる優れた教師力をもつマイスター教員の養成を図る「マイスター養成塾」では、平成19年度からの9年間で103名が修了し、全員が高い指導力を身につけることができた。

認定されたマイスターはセンター研修や校内研修等で講師を務め、受講者へその指導技術を伝達し、市全体の教師力向上に大きく寄与した。

### マイスター養成塾の推移

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
受講者数（入塾者数）	18(10)	19(12)	18(12)	16(12)	17(8)
認定者数	8	9	14	7	5
認定延人数	49	58	72	79	84
修了延人数	70	80	90	102	103

○県費負担教職員の権限移譲準備	63,493,718 円
○教職員採用等事業費	3,610,241 円
○教育関係職員の人事管理の適正化	930,020 円
○多忙化解消対策推進事業費	123,240 円
○マイスター養成塾等スキルアップ研修	5,477,781 円

### (6) 地域連携関係

学・社・民の融合による人づくり，地域づくり，学校づくりを推進する取り組みとして，学校を中心とした地域コミュニティや地域の教育力の醸成を図る「地域と学校パートナーシップ事業」をすべての市立小学校 110 校，中学校 56 校，中等教育学校 1 校，特別支援学校 2 校の計 169 校で実施した。

学校では，子どもたちと地域の大人との豊かなかかわりを通して，学習活動の充実や教育環境の整備が進み，子どもの学力や体力の向上，社会性の育成や心の安定が図られた。さらに，学校支援ボランティア活動を通して，地域住民や保護者の経験と知識を生かせる場として学校がより身近な存在となり，住民同士の交流も生まれ，地域の活性化につながった。

「ふれあいスクール事業」は，67 校において開催し，平日の放課後や土曜日の午前中に子どもたちの安心安全な居場所を提供した。また，スタッフとしてかかわる保護者や地域住民の協力を得て，異年齢交流や地域の大人との交流を図ることができた。

保護者，地域からは，「子どもとふれあえて楽しく元気をもらっている」，「地域の中に知り合いが増え交流できて嬉しい」などの感想が多く寄せられており，地域全体で子どもをはぐくむ気運をより一層高めることができた。

## 地域と学校パートナーシップ事業

	25年度	26年度	27年度
事業実施校数	173校	172校(※1)	169校(※1)
学校支援延べ事業数	50,520回	51,178回	51,718回
学校支援ボランティア延べ人数	209,387人	219,848人	258,822人

※1 学校の統廃合による減

○地域と学校パートナーシップ事業費	145,519,422円
○ふれあいスクール事業費	38,649,623円

### (7) 青少年関係

青少年の非行防止や健全育成を図るため、青少年育成員を委嘱し、繁華街などで巡回や青少年への声かけ・見守りを実施した。

若者支援事業では、新潟市若者支援センター「オール」において、相談業務をはじめ、若者の支援者であるユースアドバイザーを配置し、安心して過ごせる居場所を提供した。また、若者の社会的・職業的自立を支援する事業を実施した。

(仮称)国際青少年センター整備事業では、基本構想・基本計画を策定した。

○街頭育成活動	2,223,768円
○若者支援事業費	7,058,375円
○(仮称)国際青少年センター整備事業費	1,527,020円

### (8) 生涯学習関係

生涯学習センターでは、市民の高度で専門的な学習ニーズに応えるため、「にいがた市民大学」を開設し、大学コンソーシアムとの連携による講座や、市民の企画による講座など、計5講座を開講し、多様な学習機会の提供に努めた。

また、基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上を図ることを目的とした「早寝早起き朝ごはん運動」を推進するため、地域コミュニティ協議会等と協働で「おはよう朝ごはん料理講習会」を39回開催し、1,029人の参加があったほか、保護者が一堂に会する就学時健診等の機会を捉え、「子育て学習出前講座」を小・中学校118校で開催した。

引き続き、生涯学習ボランティアの育成を支援するとともに、ボランティアバンクの普及啓発を行い、生涯学習の推進を図った。

#### ボランティアバンク登録者数

	25年度	26年度	27年度
登録者数	1,312人	1,380人	1,344人

○にいがた市民大学開設事業費	6,244,340円
○家庭教育振興事業費	2,476,144円
○生涯学習ボランティア育成支援事業費	111,246円

公民館では、地域コミュニティ協議会や社会福祉協議会等の地域団体と連携しながら「地域コミュニティ活動活性化支援事業」を実施し、地域課題の解決に必要な事業や地域のつなぎ役となるコミュニティ・コーディネーターの育成に全区で取り組み、実践活動を行うグループが結成されるなど、地域の連帯感の醸成と地域づくり、人づくりを支援し、地域の教育力向上に努めた。

また、出産前から思春期まで子どもの成長に合わせた「家庭教育学級」を20館で開催した。68講座に6,656人が参加して、子どもとのコミュニケーションの取り方や親としてできること・すべきことなどを学び、家庭の教育力向上につながった。

さらに、「青少年の居場所づくり」を18館で実施し、地域で子どもを見守り、支えていく場づくりに努めるとともに、子どもと大人の相互理解の推進を図った。

#### 家庭教育学級実施講座数

	25年度	26年度	27年度
講座数	63講座	63講座	68講座

○地域コミュニティ活動の活性化	3,907,843円
○地域学振興事業費	1,547,319円
○（公民館）家庭教育振興事業費	9,432,278円
○青少年の居場所づくり	394,051円



図書館では、「新潟市立図書館ビジョン」に基づき、「心豊かな都市づくりを支える市民の身近な学びと情報の拠点」として市民の生涯学習を支援するため、幅広い資料・情報の収集と提供を行うとともに、相続や法律・年金をテーマにした「くらしの情報講座」や地域と連携した講座など、図書館資料を活用した様々な事業を実施した。また、高齢者福祉施設向けにテーマ別のセット本を貸し出すサービス「いきいきBOX」を引き続き実施した。

また、図書館サービスの向上を目指して、新しい図書館情報システムの運用を開始した。

さらに、市民の生活・仕事・地域の課題の解決に役立つよう、レファレンス（調査相談）サービスの充実に努め、83,157件の質問に対応するとともに、中央図書館で「行政書士無料相談会」や「起業・経営相談会」、「ビジネス支援セミナー」を開催した。

ブックスタート事業では、1歳誕生歯科健診の場を活用して、約6,000組の親子に絵本の読み聞かせを行うとともに、絵本をプレゼントした。また、子ども連れで気がねなく図書館を利用してもらうため「赤ちゃんタイム」を市内の8図書館に拡大して実施した。

小・中学校での読書活動や調べ学習推進のため、4つの学校図書館支援センターで、学校図書館への訪問、業務相談や学校司書研修、図書資料の貸出など、学校図書館への支援を行った。

#### 図書貸出数

	24年度	25年度	26年度	27年度
貸出数	4,723,162	4,599,711	4,579,026	4,660,496
対前年度比 (%)		97.39	99.55	101.78

○読書普及事業費	189,489,230円
○図書館サービス向上事業費	145,694,324円
○ビジネス情報提供事業費	3,288,288円
○子どもの読書環境の整備	5,720,067円

## 平成28年度全国学力・学習状況調査 新潟市の結果

学校支援課

※ 数値は平均正答率

学年	教科	新潟市	全国（公立）	新潟県	全国との差	県との差
小学校 6年	国語A	76.3%	72.9%	75.8%	+3.4 p	+0.5 p
	国語B	61.3%	57.8%	59.6%	+3.5 p	+1.7 p
	算数A	79.7%	77.6%	79.6%	+2.1 p	+0.1 p
	算数B	49.1%	47.2%	47.7%	+1.9 p	+1.4 p
中学校 3年	国語A	76.8%	75.6%	76.5%	+1.2 p	+0.3 p
	国語B	67.4%	66.5%	66.9%	+0.9 p	+0.5 p
	数学A	62.7%	62.2%	62.3%	+0.5 p	+0.4 p
	数学B	45.6%	44.1%	44.0%	+1.5 p	+1.6 p

※ 昨年度に引き続き、全数調査として実施された。

新潟市全体の結果は、小学校、中学校とも、すべての教科で全国の平均正答率（以下、全国平均）及び新潟県全体の平均正答率（以下、県平均）を上回った。全国平均及び県平均との差は昨年度とほぼ同様であり、安定した状況にあると言える。今年度は理科は行われていない。

設問別に見ると、小学校国語のすべての設問で全国平均を上回ったことをはじめ、全体的に概ね全国平均を上回った。また、小学校、中学校とも、思考力・判断力・表現力を必要とするB問題において、正答率が全国平均を上回る設問数の割合が高い。

ただし、小学校算数では「数と計算」領域の設問に全国平均を下回るものがあり、基礎的な計算に課題が残った。また、中学校国語では情報の整理をして内容をとらえる設問や内容をどのように修正したのか選択する設問で、中学校数学では比例・反比例及び一次関数など関数領域の設問等でそれぞれ課題が残った。

学習課題とまとめを中心とし、アクティブ・ラーニングを取り入れた授業改革により、B問題で成果が表れている。今後も、学校訪問や各種研修会を通して徹底していくとともに、課題についてより細かく分析し、各学校を支援していく必要がある。

◆新潟市の学力向上及び授業改善に向けた主な取組

主な取組等	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
全国学力・学習状況調査 (国の調査対応)	(震災のため中止) ※新潟市は調査問題を使い9月に全校調査	(抽出校調査) ※ただし、新潟市は全校調査実施	(悉皆調査)	(悉皆調査)	(悉皆調査)	(悉皆調査)
Webによる単元問題配信 (委託事業)	小4～6、中1～3 算数・数学8回に拡大	小5、中2、理科4回を加える	継続	継続	継続	経年変化が見られるように改善
授業づくりリーフレットによる目指す授業の明示	リーフレットを市内全教員に配付	リーフレット改訂版を市内全教員に配付	授業づくり実践編を市内全教員に配付	生徒指導ガイドブックを市内全教員に配付		新しい授業づくりガイドブックの配布
学校訪問(計画訪問)の改善による指導の徹底		奇数学番の全校で全学級の授業を参観し指導	偶数学番全校で実施 全体指導を強化	奇数学番校で2回目の実施	偶数学番校で2回目の実施	奇数学番校で3回目の実施
研修会の開催・その他	(各種研修会)	研究主任を対象とした研修会、校長を対象としたマネジメント研修会、全国学力調査の結果を基にした研修会、中学校教員を対象とした研修会	継続	継続 教頭を対象としたマネジメント研修会を新たに追加	継続	継続

◆全国学力調査における全国平均との差

小学校	国語A	(震災のため中止)	0.1P	4.1P	4.6P	3.5P	3.4P
	国語B	(震災のため中止)	1.7P	2.6P	4.8P	3.9P	3.5P
	算数A	(震災のため中止)	2.6P	2.5P	3.2P	2.4P	2.1P
	算数B	(震災のため中止)	2.8P	2.7P	3.5P	0.9P	1.9P
中学校	国語A	(震災のため中止)	1.9P	0.3P	0.3P	0.2P	1.2P
	国語B	(震災のため中止)	2.0P	0.0P	0.3P	0.3P	0.9P
	数学A	(震災のため中止)	1.6P	0.7P	1.7P	1.3P	0.5P
	数学B	(震災のため中止)	0.3P	-0.2P	1.7P	2.1P	1.5P

※数値は「している」「どちらかといえばしている」「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」などの4段階評価の肯定的な評価の割合

質問番号	質問事項	新潟市	全国	新潟県
(1)	朝食を毎日食べていますか	97.4	95.5	97.1
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	83.9	80.1	82.9
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.8	90.8	92.4
(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	95.7	94.4	95.7
(5)	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	80.8	76.1	79.8
(6)	自分には、よいところがあると思いますか	80.3	76.3	78.8
(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	53.9	51.7	53.4
(8)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	94.9	92.7	95.1
(9)	将来の夢や目標を持っていますか	85.3	85.3	84.6
(10)	普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか(午後11時より前に寝る割合)	90.5	86.2	91.7
(11)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く)(2時間以上の割合)	58.6	57.1	59.7
(12)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか(2時間以上の割合)	28.7	29.7	30.4
(13)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)(2時間以上の割合)	7.6	10.4	8.6
(14)	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)(1時間以上の割合)	72.0	62.5	71.3
(15)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)(2時間以上の割合)	20.0	24.2	19.0
(16)	学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか	45.9	36.2	41.0
(17)	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(30分以上の割合)	35.2	36.5	34.3
(18)	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか(週1回以上の割合)	25.4	16.4	19.8
(19)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	79.8	79.2	77.6
(20)	家の手伝いをしていますか	83.8	82.8	82.6
(21)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	75.3	62.2	73.8
(22)	家で、学校の宿題をしていますか	96.4	97.0	97.0
(23)	家で、学校の授業の予習をしていますか	42.7	43.3	41.6
(24)	家で、学校の授業の復習をしていますか	57.1	55.2	57.3
(25)	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	59.7	64.6	58.7
(34)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	78.5	67.9	83.6
(35)	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	72.9	70.6	73.4
(36)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	44.3	36.2	45.7
(41)	人が困っているときは、進んで助けていますか	86.5	84.6	86.7
(42)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	97.6	96.6	97.6
(43)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.4	93.8	95.0

※数値は、「している」「どちらかといえばしている」「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」などの4段階評価の肯定的な評価の割合

質問番号	質問事項	新潟市	全国	新潟県
(1)	朝食を毎日食べていますか	95.6	93.3	95.5
(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	79.6	75.2	78.6
(3)	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	94.2	92.3	93.9
(4)	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	94.6	94.3	95.2
(5)	難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか	73.0	69.6	74.1
(6)	自分には、よいところがあると思いますか	71.6	69.3	71.7
(7)	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	50.3	50.2	51.3
(8)	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	95.0	93.0	95.2
(9)	将来の夢や目標を持っていますか	71.0	71.1	70.7
(10)	普段(月～金曜日)、何時ごろに寝ますか(午後11時より前に寝る割合)	38.6	36.9	42.5
(11)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間は除く)(2時間以上の割合)	49.5	48.7	50.4
(12)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか(2時間以上の割合)	33.1	34.9	35.2
(13)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)(2時間以上の割合)	22.9	30.1	25.3
(14)	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)(1時間以上の割合)	63.6	67.9	62.4
(15)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)(2時間以上の割合)	38.8	40.1	36.5
(16)	学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか	61.0	50.9	60.2
(17)	学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(30分以上の割合)	30.7	28.2	29.1
(18)	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか(週1回以上の割合)	9.3	7.6	6.4
(19)	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	73.1	74.1	73.4
(20)	家の手伝いをしていますか	67.6	67.2	65.8
(21)	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	50.7	48.4	51.5
(22)	家で、学校の宿題をしていますか	87.8	90.1	89.3
(23)	家で、学校の授業の予習をしていますか	25.0	34.2	22.7
(24)	家で、学校の授業の復習をしていますか	46.4	51.0	46.2
(25)	家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか	69.4	68.2	65.7
(34)	今住んでいる地域の行事に参加していますか	44.5	45.2	51.0
(35)	地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか	64.8	65.8	66.8
(36)	地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか	56.5	48.7	56.9
(41)	人が困っているときは、進んで助けていますか	85.5	83.8	86.1
(42)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	94.7	93.6	95.2
(43)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	94.0	92.8	94.3